



活動レポート

2025年8月

TOPIX

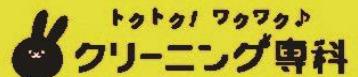
わたSHIGA輝く国スポ[®] 関東ブロック大会 結果

成年種別



成年男子が準決勝で劇的な逆転勝利！ 2位で本大会出場！ 成年女子は惜しくも敗退

supported by



株式会社プロテリアル



香陵住販(株)



活動レポート

2025年8月

TOPIX

わたSHIGA輝く国スポ 関東ブロック大会 結果

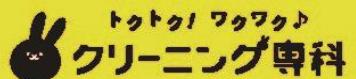
少年種別



少年男子関東4連覇を達成！！！！

少年女子は代表決定戦で惜しくも敗退

supported by



株式会社プロテリアル



香陵住販(株)

わたSHIGA輝く国スポ2025 関東ブロック予選 結果報告

少年男子が関東4連覇を達成！！ 成年男子は準決勝の大逆転劇で本大会出場権を獲得！

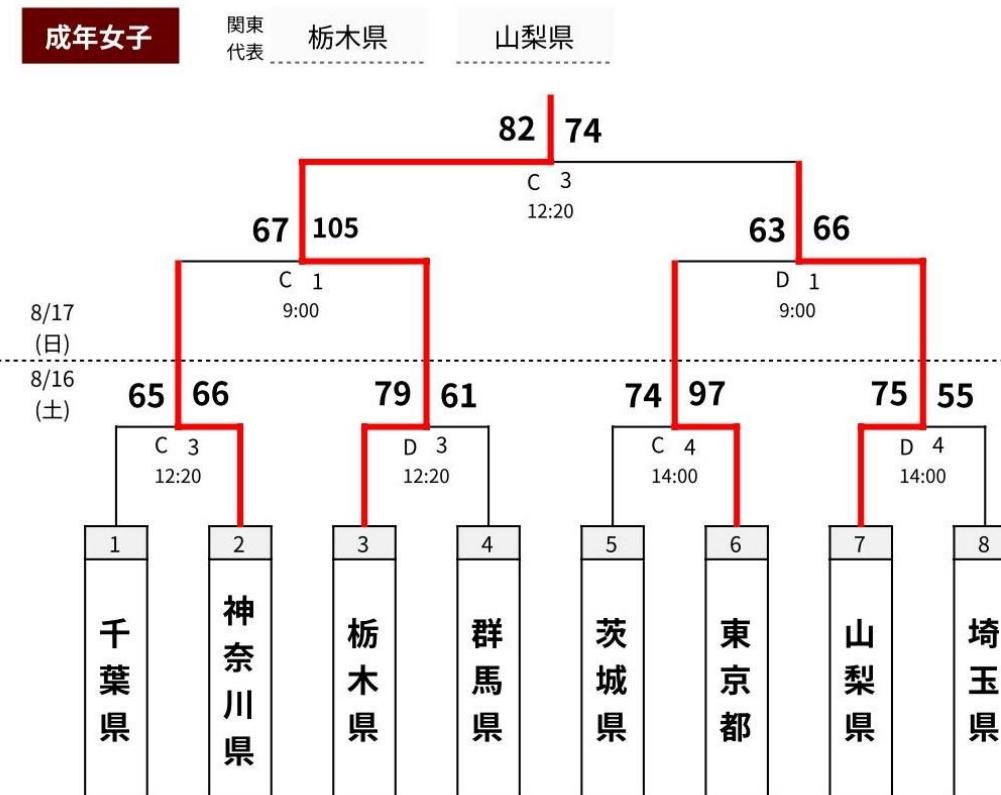
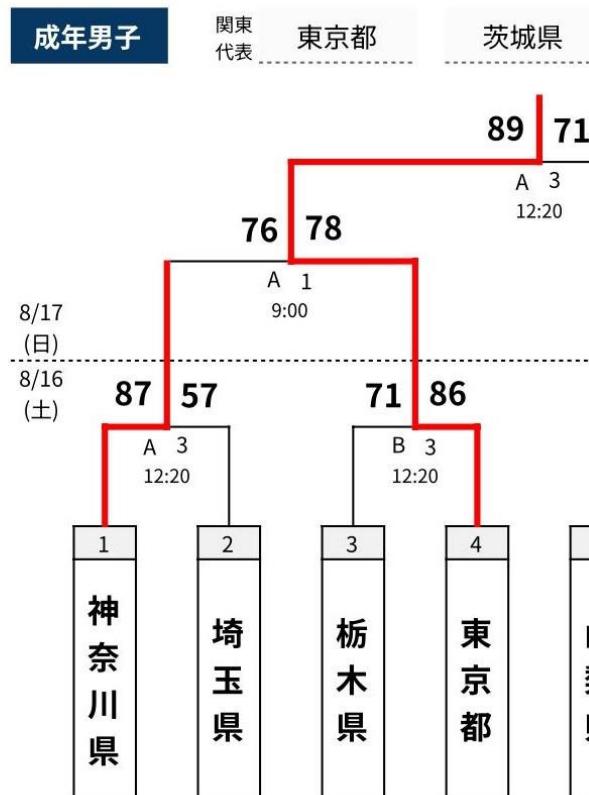
「わたSHIGA輝く国スポ 関東ブロック予選」が、8月16日(土)17日(日)に群馬県太田市で開催され、成年種別男女、少年種別(U16)男女が、それぞれ関東各都県との激闘に臨みました。

この大会に参加している選手、スタッフの皆さんには、自チームの活動やプライベートの時間を削って、茨城県選手団として参加してくださっています。心から感謝の意を表します。また、所属先チームにおかれましても、選手、スタッフの派遣につきましてご理解ご協力をいただいておりますことに対し、併せて感謝申し上げます。

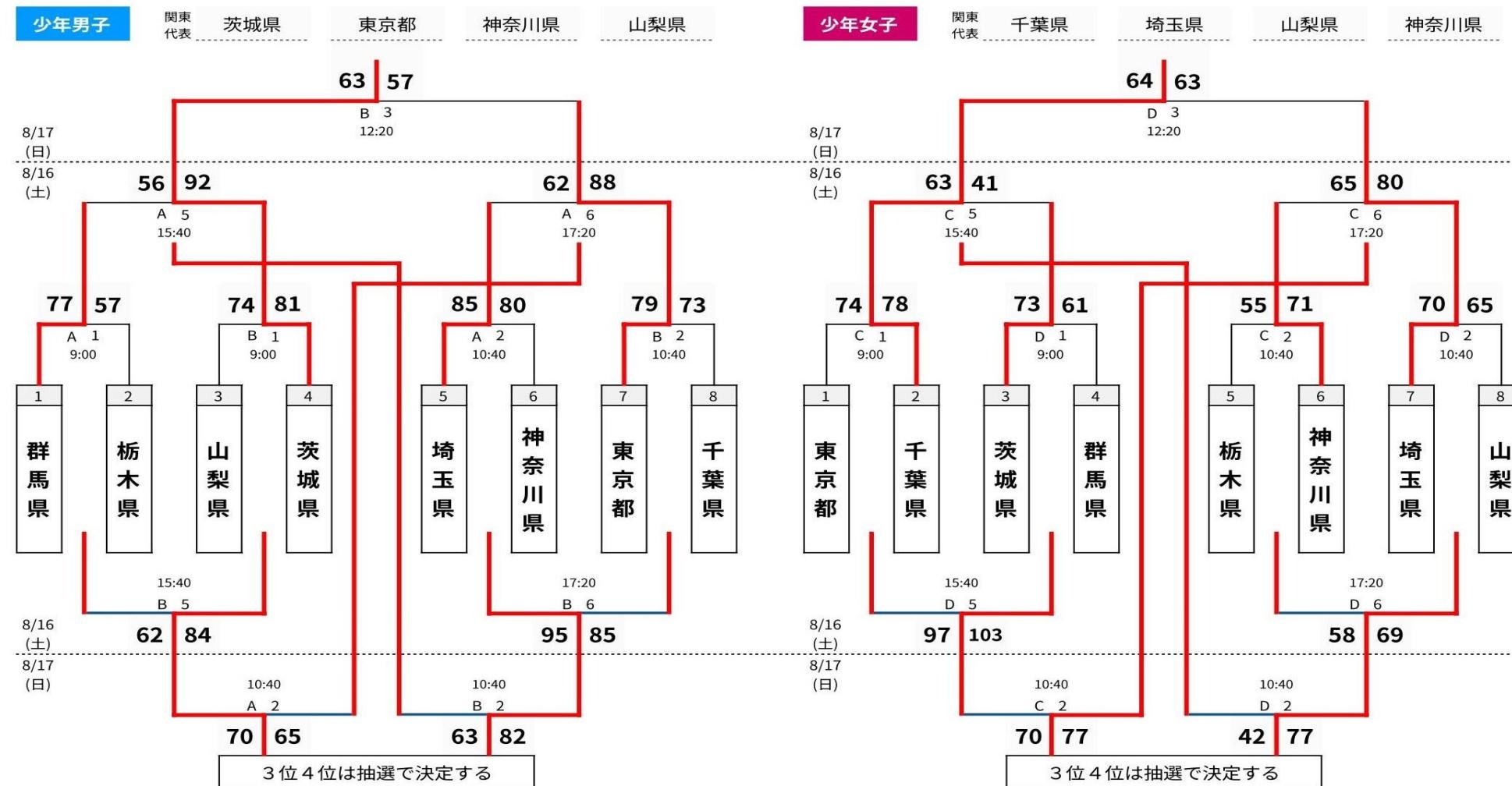
2025（令和7）年度 第79回 国民スポーツ大会 関東ブロック大会 バスケットボール競技

期日： 2025年8月16日（土）・17日（日）

会場： 【A・Bコート】OPEN HOUSE ARENA OTA 【C・Dコート】太田市運動公園市民体育館



2025（令和7）年度 第79回 国民スポーツ大会 関東ブロック大会 バスケットボール競技
 期日： 2025年8月16日（土）・17日（日）
 会場： 【A・Bコート】OPEN HOUSE ARENA OTA 【C・Dコート】太田市運動公園市民体育館



<成年男子>

1回戦

山梨県	78	24	1	20	84	茨城県
		20	2	21		
		13	3	17		
		21	4	26		
			OT			

準決勝

茨城県	56	14	1	22	53	千葉県
		10	2	16		
		12	3	2		
		20	4	13		
			OT			

決勝

東京都	89	21	1	18	71	茨城県
		27	2	20		
		21	3	13		
		20	4	20		
			OT			

初日、成年男子の初戦は山梨県。例年通りの山梨学院大学に山梨学院高校の留学生が加わった若い布陣の勢いに手を焼きながらも、最後は経験豊富な本県チームがスルスルっと抜け出して勝利。

2日目、準決勝は千葉県と対戦。前半、千葉県のディフェンスの強度とスピード溢れるオフェンスに苦しめられリードを広げられる展開も、ディフェンスリバウンドの安定感でなんとかロースコアのゲームへと持ち込むと、3Qに相手を2得点に抑え、4Qにはついに逆転。劇的な逆転勝利で、本戦出場権を獲得しました。準決勝での激戦の疲れもあり、決勝では東京都に敗れましたが、昨年の佐賀国スポの結果から、今年の滋賀国スポには第4シードでの出場ということになります。「子供たちに見てもらいたい日本一頑張る大人たち」である本県成年男子チームが、今年も熱く戦ってくれます。

<成年女子>

1回戦

茨城県	74	21	1	15	97	東京都
		9	2	27		
		26	3	31		
		18	4	24		
			OT			

成年女子は、初戦で東京都と対戦。近年、関東各都県の成年女子チームのメンバー構成は、大学単独チームが多くなってきており（栃木、埼玉、山梨）、東京都もほぼ早稲田大学で3名の補強という構成。1Qを6点リードで終えたものの、2Qに逆転を許すと、3Q、4Qでもじわじわと引き離され、無念の敗戦となりました。

本県成年女子チームは、スタッフ・選手の献身的な活動の元、着々とチームの強化が進んでいます。必ず花を咲かせると信じています。来年以降の活躍を期待します。

<少年男子>

1回戦

山梨県	74	15	1	20	81	茨城県
		20	2	17		
		21	3	18		
		16	4	17		
		2	OT	9		

準決勝

群馬県	56	19	1	16	92	茨城県
		13	2	24		
		10	3	27		
		14	4	25		
			OT			

決勝

茨城県	63	19	1	17	57	東京都
		12	2	19		
		19	3	11		
		13	4	10		
			OT			

栃木国体、鹿児島国体を連覇、昨年の佐賀国スポも2位と、結果を出し続けている少年男子が、今年も勝負強さを發揮し、関東4連覇（！）を達成しました。初戦、山梨県との延長戦で薄氷の勝利をつかむと、準決勝の群馬県戦は2Q以降突き放しての快勝。4連覇に王手をかけます。決勝の相手は昨年と同じ東京都。出だしから一進一退のゲーム展開となり、前半は5点ビハインドで終了。後半は、勝負所で効果的に3Pシュートを決め、ディフェンスも最後まで強度を保った本県チームが、東京都を振り切って優勝を勝ち取りました。今年の少年男子も、球際の強さ、勝負強さを持つ素晴らしいチームです。先輩たちの後を継ぎ、今年も「日本一魂のこもったチーム」となって、滋賀国スポに堂々の第2シードで乗り込みます。

<少年女子>

1回戦

茨城県	73	26	1	21	61	群馬県
		18	2	16		
		17	3	5		
		12	4	19		
			OT			

準決勝

千葉県	63	9	1	12	41	茨城県
		12	2	14		
		22	3	8		
		20	4	7		
			OT			

代表決定戦

茨城県	42	7	1	19	77	山梨県
		16	2	16		
		9	3	17		
		10	4	25		
			OT			

初日、1回戦で群馬県に快勝した本県チームは、準決勝で千葉県と対戦。ロースコアの展開で前半を5点リードで終えますが、後半、疲労もあってか得点を伸ばせない本県チームに対し、千葉県が本来の能力を発揮し始め、点差を広げられてしまいました。

2日目、敗者戦で勝ち上がってきた山梨県との代表決定戦は、終始得点を伸ばせず苦しい展開。安定して得点を伸ばした山梨県に引き離され、無念の敗退となりました。本戦出場は逃しましたが、今年のチームには中3生が4人も！含まれていました。来年の活躍を期待します。